

アンケート協力をお願い

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

弊社では現在、経済産業省の委託事業「自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態等調査事業」を受託し、調査を実施しております。

本調査では現状の企業概要や廃車処理状況に加えて解体業の展望についてのご意見を頂戴したくアンケートを実施しております。つきましては、お忙しいところ恐縮でございますが、内容をご確認いただきましてアンケート回答にご協力くださいますよう宜しくお願いいたします。

※本調査は、経済産業省が調査するために必要なものであり、「自動車リサイクルシステム」に事業者登録されている業者様に送付しているものです。

なおご回答いただきました内容に関しましては、上記目的のみに使用し、また統計的処理しますので、御社のお名前等が外部に出ることは一切ございません（アンケートの回答内容についてご確認させていただく場合がありますので予めご了承ください。）

～ 回答にあたってのお願い ～

このアンケート調査は**A4用紙8枚でQ1～Q7**まであります。ご回答については該当する項目から選び、数字（①、②、③・・・）に○を付けて下さい。数字および%の選択にあたっては、選択肢の一番近いものに○を付けて下さい。また記入欄がある設問については、具体的な数字もしくはご意見の記入をお願いします。

その中で何かご不明な点等がございましたら、担当「関口・東」までお申し付けください
(電話 **03-5371-6938**)。

なお、ご回答いただきましたアンケートは、ご記入漏れなどがございませんようにご確認の上、同封しております返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに**、アンケートが到着しました日から**1週間以内**にご投函いただくようお願い申し上げます。

敬具

担当：(株)矢野経済研究所 自動車流通事業部

関口・東 (E-Mail: tsekiguchi@yano.co.jp / asuka.azuma@yano.co.jp)

TEL: 03 (5371) 6938 FAX: 03 (5371) 6966

(株)矢野経済研究所 〒164-8620 東京都中野区本町2-46-2 中野坂上セントラルビル

〔設立〕1958年3月 〔資本金〕2億円 〔社員数〕187名

URL: <http://www.yano.co.jp>

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q1) 企業概要についてご回答ください。

会社名		代表者	(歳)
会社形態	① 株式会社 ② 有限会社 ③ 個人事業 ④ その他 () ↳ 資本金 (万円)		
設立年	年 (不明な場合 → 自動車解体をはじめてからおよそ 年)		
従業員数	合計: _____人 (正社員: _____人 / 臨時社員: _____人 / その他: _____人) ↳ うち常時、自動車リサイクルに関する事業に従事している従業員数: _____人		
事業所数 (*)	① 1ヶ所 ② 2ヶ所 ③ 3ヶ所 ④ 4ヶ所 ⑤ それ以上 (_____ヶ所) ↳ 所在県・国 (_____)		
後継者	① あり ② なし		

*複数事業所がある場合、それぞれの所在県(海外事業所がある場合は国)もご回答ください。

Q1-1) 御社が取り組んでいる事業内容について、下記の選択肢から全て選びご回答ください。また、その中で主業として
いるものについてご回答ください。

展開事業 (複数可)		主業 (複数可)	
---------------	--	-------------	--

*①その他を選択した場合は、具体的な事業内容をご回答ください。

今後予定している事業がある場合は、その事業内容と事業開始に向けた課題点などをご回答ください。

今後、展開を予定している事業 (複数可)		展開を予定している事業の 開始にあたっての課題など	
-------------------------	--	------------------------------	--

*①その他を選択した場合は、具体的な事業内容をご回答ください。

事業内容

【自動車リサイクルに関する事業】			
① 自動車解体業 (スクラップ販売)	② 自動車解体業 (リサイクル部品の国内販売)	③ 自動車解体業 (リサイクル部品の輸出)	④ シュレッダー業
⑤ プレス・せん断処理業			
【自動車リサイクルに関する以外の事業】			
⑥ 新車販売業	⑦ 中古車販売業	⑧ 自動車整備・板金業	⑨ 中古車輸出業
⑩ 中古部品輸出業	⑪ その他		

*自社生産したリサイクル部品を輸出している場合は、③自動車解体業 (リサイクル部品の輸出) を選択してください。
また、他社で生産されたリサイクル部品を買い付けて輸出している場合は、⑨中古部品輸出業を選択してください。

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q2) 昨年度（平成 24 年度：2012 年 4 月～2013 年 3 月）に解体処理された使用済自動車についてお伺いします。

Q2-1) 解体処理台数を 100%とした場合の仕入先別の割合をおおよそで構いませんのでご回答ください。また、平成 22 年度、23 年度時点の仕入先の割合についてもご回答ください。

仕入先	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
新車ディーラー	%	%	%
中古車販売業者	%	%	%
整備板金業者	%	%	%
オートオークション	%	%	%
損害保険会社	%	%	%
個人（一般ユーザー）	%	%	%
同業者	%	%	%
その他	%	%	%

* 構成比は合計が 100 になるようにご回答ください

Q2-2) 使用済自動車の仕入先確保のために講じている方策についてご回答ください。

Q2-3) 昨年度に解体処理された使用済自動車のうち、リサイクル料金を負担した割合をおおよそで構いませんのでご回答ください。なお、割合は、各仕入先からの使用済自動車の引取台数を 100%とした場合の割合をご回答ください。

仕入先	リサイクル料金の負担割合
新車ディーラー	%
中古車販売業者	%
整備板金業者	%
オートオークション	%
損害保険会社	%
個人（一般ユーザー）	%
同業者	%
その他	%

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q2-4) 仕入先でオークション仕入を行っているとは回答された方は、オークション種別の割合について、オークション仕入台数を100とした場合の割合をご回答ください。また、オークションを利用する最も大きい理由について、該当するものに○を付けてください。

	構成比 (平成24年度)	オークション利用目的 (○は一つ)
通常オークション	%	① 付加価値の高い(高く販売できる等)中古部品を回収するため ② 解体処理台数を確保するため ③ その他()
リユースオークション	%	① 付加価値の高い(高く販売できる等)中古部品を回収するため ② 解体処理台数を確保するため ③ その他()

*リユースオークションとは現状売切りコーナーなど低年式過走行車輦を中心に取引する場

*構成比は合計が100になるようにご回答ください

Q2-5) 解体処理台数を100%とした場合の車種別の割合をおおよそで構いませんのでご回答ください。また既存車と次世代車を分けた場合の割合もおおよそ構いませんのでご回答ください。

車種	仕入構成比 (平成24年度)
乗用車	%
小型トラック(積載量3t以下)	%
中型トラック(積載量4~6t)	%
大型トラック(積載量8t以上)	%
軽自動車	%
その他	%

*構成比は合計が100になるようにご回答ください

車種		仕入構成比 (平成24年度)
次世代車	ハイブリッド・PHV	%
	電気自動車	%
	天然ガス自動車	%
	LPG自動車	%
既存車(ガソリン・ディーゼル車)		%

*構成比は合計が100になるようにご回答ください

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q2-6) 解体処理台数を 100%とした場合の使用済自動車の取引形態別の割合（有償、無償、逆有償）をおおよそで構いませんのでご回答ください。

	仕入構成比 (平成 24 年度)
有償引取り	%
無償引取り	%
逆有償引取り(*)	%

*逆有償引取り：仕入先から解体処理費用を徴収している割合

*構成比は合計が 100 になるようにご回答ください

Q2-7) 上記設問で有償引取りしていると回答いただいた方はおおよそで構いませんので、平成 24 年度の平均買取金額について、車種別に該当する番号をご回答ください。「⑫ それ以外」を選択いただいた方は具体的な金額をご記入ください。

平成 24 年度	乗用車	小型トラック (積載量 3t 以下)	中型トラック (積載量 4~6t)	大型トラック (積載量 8t 以上)	軽自動車
平均買取金額(*)					
オークション平均落札金額					

*オークション仕入以外の平均買取金額をご回答ください

買取金額

① 5,000 円	② 10,000 円	③ 15,000 円	④ 20,000 円	⑤ 25,000 円	⑥ 30,000 円
⑦ 40,000 円	⑧ 50,000 円	⑨ 100,000 円	⑩ 200,000 円	⑪ 300,000 円	⑫ それ以外

Q2-8) 最も取り扱いの多い車種の平成 22 年度~24 年度の平均買取金額の推移（平成 24 年度については Q2-7 にて回答）についても同様にご回答ください。

車種 (○を付けてください)	① 乗用車	② 小型トラック (積載量 3t 以下)
	③ 中型トラック (積載量 4~6t)	④ 大型トラック (積載量 8t 以上)
	⑤ 軽自動車	

	平成 22 年度 (2010 年 4 月~2011 年 3 月)	平成 23 年度 (2011 年 4 月~2012 年 3 月)
平均買取金額		
オークション平均落札金額		

買取金額

① 5,000 円	② 10,000 円	③ 15,000 円	④ 20,000 円	⑤ 25,000 円	⑥ 30,000 円
⑦ 40,000 円	⑧ 50,000 円	⑨ 100,000 円	⑩ 200,000 円	⑪ 300,000 円	⑫ それ以外

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q3) 解体処理関連機械（設備）についてお伺いします。現在保有している（外部委託しているものは含まない）機械（設備）の基数／台数をご回答ください。また下記以外に保有している機械（設備）があれば、その他にご記入ください。

フォークリフト	台	ユニック車	台	キャリアカー・レッカー車	台
トラック	台	タイヤショベル	台	天井クレーン	基
フロン回収機	基	プレス機	基	ニブラ	基
酸素切断機	基	廃油廃液回収装置	基	エアバッグ一括作動装置	基
スチーム洗浄機	台	品質検査テスター	基	故障診断機	基
その他					

Q3-1) 今後、導入を予定する機械（設備）があれば、その機械（設備）と導入目的や課題についてご回答ください。

導入予定機械（設備）	
導入目的や課題	

Q4) リサイクル部品（中古部品・リビルト部品）販売状況についてお伺いします。リサイクル部品販売を行っていない場合は Q5 へお進みください。

Q4-1) リサイクル部品の仕入先および販売先について、平成 24 年度のリサイクル部品売上金額を 100%とした場合の割合をおおよそで構いませんのでご回答ください。

また現在の御社の中古部品の在庫点数についてもおおよそで構いませんのでご回答ください。

仕入先	仕入先構成比 (平成 24 年度)
自社生産（部品どり）	%
同業者（部品ネットワーク）	%
リビルト部品メーカー	%
その他	%

販売先		販売先構成比 (平成 24 年度)
輸出（自社輸出）		%
国内販売	新車ディーラー	%
	中古者販売業者	%
	整備板金業者	%
	同業者（部品ネットワーク）	%
	自動車部品卸商	%
	部品輸出業者（バイヤー）	%
	その他	%

* 構成比は合計が 100 になるようにご回答ください

中古部品在庫点数	点
----------	---

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q5) 自動車リサイクルに関する事業での売上高及び費用の状況についてお伺いします。

Q5-1) 平成 22 年度～平成 24 年度の 3 ヶ年度それぞれの自動車リサイクルに係る事業での売上高ついて、おおよそで構いませんのでご回答ください。

平成 22 年度 (2010 年 4 月～2011 年 3 月)	平成 23 年度 (2011 年 4 月～2012 年 3 月)	平成 24 年度 (2012 年 4 月～2013 年 3 月)
おおよそ 万円	おおよそ 万円	おおよそ 万円

Q5-2) 平成 24 年度の自動車リサイクルに係る事業での売上高を 100%とした場合の売上高項目について、おおよそで構いませんのでご回答ください。

	売上高構成比 (平成 24 年度)
スクラップ販売	%
中古部品販売 (国内)	%
中古部品販売 (輸出)	%
リビルト部品販売	%
その他	%

* 構成比は合計が 100 になるようにご回答ください

Q5-3) また、スクラップについて、重量換算での鉄種別、引渡先別の割合について、おおよそで構いませんのでご回答ください。

	鉄	アルミ	銅	触媒
金属回収業者 (国内向け)				
金属回収業者 (海外向け)				
金属回収業者 (仕向地不明)				
破碎・せん断業者				
金属精錬業者				
直接輸出				
その他				
	100%	100%	100%	100%

* 金属回収業者：商社、ブローカーなど

* 金属回収業者に引渡しているが仕向地を確認、把握していない場合は、金属回収業者 (仕向地不明) としてください。

* 構成比は合計が 100 になるようにご回答ください。

自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態調査

Q5-4) 平成 24 年度の自動車リサイクルに係る事業に要した費用について、総費用と費用項目について、おおよそで構いませんのでご回答ください。

平成 24 年度 (2012 年 4 月 ～2013 年 3 月)		費用内訳構成比	
	仕入金	%	* 仕入金
おおよそ	うち、リサイクル料金負担	%	使用済自動車買取費用、オークション費用、陸送費、リサイクル費用等
	設備費用	%	* 設備費用
万円	うち、燃料費	%	装置等の購入費、リース料金、設備の減価償却費
	うち、光熱費	%	* リサイクル部品販売費用
	産廃処理費用	%	ネットワーク利用費用、宅配費用、通関委託費等
	人件費	%	
	リサイクル部品販売費用	%	
	土地賃借費用	%	
	その他	%	

* 構成比は合計が 100 になるようにご回答ください

Q6) 現在、自動車解体処理における問題点、課題点（仕入競争、次世代自動車対応など）についてどんなことでも構いませんのでご回答ください。

Q7) 今後の御社の自動車解体業における方針についてどんなことでも構いませんのでご回答ください。

長時間にわたり、お忙しい中アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

記入漏れなどがないようご確認いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵送をお願いします。